

News Letter ささえられて80年

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科	看護科	商業科
特進コース	看護科	商業コース
普通コース	看護専攻科	美容専科コース
健康福祉コース		製菓衛生師コース
保育コース		
インターコース		
一貫コース		

看護科・看護専攻科

特別授業

10月31日(土)、特別講演会があり骨髄バンクを支援する山口の会代表の猶絵美先生をお迎えし、「夏がくれた生命骨髄移植を通じた医療者との関わり」と題して講演をして頂きました。先生は、自ら白血病を患い4歳からの辛い闘病生活や移植後の副作用など完治するまでの経験を話され、まだまだ多くの人が移植を待っている現状に、骨髄バンクへの登録の重要性を呼びかけられました。



製菓衛生師コース

和菓子実習

11月4・9・10日の3日間、製菓衛生師コース2年生の和菓子実習があり、門司の「和菓子なごし」の店主名越一幸先生をお迎えして、栗ようかんやおはぎなど12種類の季節の和菓子を作りました。



指導中の
名越一幸先生



保育コース

特別授業

10月31日(土)、言語・音楽・リズムなどの表現技術を修得するための特別講演会があり、講師として高見の森保育園の金子和弘先生と障がい者支援施設ひよりの丘の玉井智史先生をお迎えし、「あそびうた・ふれあいあそび・ゲーム遊び」などの活動を通して表現技術を学びました。



講演中の金子和弘先生と
玉井智史先生

文化祭

80周年記念文化祭

10月30日(金)、文化祭がありました。今年度は「80周年のキセキ」~Anniversary~のテーマのもと、学園創立80周年を記念しての開催となりました。展示や催し物など盛りだくさんの企画に楽しい一日を過ごしました。



第27回シャロンカップコンテスト

10月24日(土)、第27回シャロンカップコンテストが行われました。遠く久留米からの出場者を含め20名の参加があり、発音・抑揚・表現・態度・記憶などを競い合っていました。今回より会場を短期大学礼拝室より広いパターソンホールに移しての実施に、「広くすばらしい会場でした。」「度胸がつく良い機会になりました。」などのお褒めの言葉を頂きました。結果は表の通りです。

入賞	氏名	出身中学	学年
1位	坂元 碧唯さん	久留米大学附設中学校	1年
2位	川口 翔大さん	小倉日新館中学校	2年
3位	高尾 真衣さん	高見中学校	3年



第4回学校見学会

11月14日(土)、第4回学校見学会及び第2回保護者対象入試説明会があり、390名を超える中学生、保護者の参加がありました。今回の説明会では来年度の入学試験についてのアドバイスや現役生による入学体験談などを行いました。受験生にとっては貴重な情報提供に真剣な表情でメモを取る姿が印象的でした。



生徒会による
学校紹介

相川奈々さん(黒
崎中学出身)に
よる合格体験談



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月20日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月27日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成28年 1月26日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成28年 1月28日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成28年 2月4日(木)	国語・数学・社会・理科・英語	平成28年 2月8日(月)

「草創期の黒田藩と栗山大膳 黒田家と宇都宮家の抗争⑭

秀吉は徳川家康・前田利家など五大老、浅野長政・石田三成など五奉行に朝鮮の役のこと、秀頼のことを宜しく頼むと遺言して、慶長三年(1598)八月十八日、この世を去ります。秀吉が亡くなりますと、次第に家康の声望が高まり、前田利家が病死してからは、家康は関八州二百六十万石の実力から、秀吉との誓約を破って政権を専横することが多くなります。次第に石田三成など秀頼派と対立を深めていき、遂に、慶長(1600)六月、家康は、石田三成と闘って兵を挙げた会津の上杉景勝を討つべく、会津に兵を進めます。石田三成も七月に兵を挙げ、ここに、天下分け目の大決戦、関ヶ原の戦いの幕が切って落とされます。秀吉の死後会津に戻った上杉景勝は、新城の築城や、軍備の増強など積極的に行います。家康はこのことを咎め、『にわかには武備を強化するのは秀吉家に対して謀反を企てんとする誤解を与える。急ぎ大阪城にきて弁明されよ』と命じます。言い掛かりに近い家康の詰問状に、上杉景勝は拒否、家康は秀吉秀頼の名において、会津攻撃の動員令を出し、六月十六日、福島、池田、細川・黒田・加藤・藤堂・山内の諸大名を率いて会津に向かいます。三成挙兵を予想していた家康が下野(栃木県)の小山まで進んだとき三成挙兵の報が入ります。有名な『小山会議』を開き、有力な福島正則を陣営につけ、福島正則以下諸大名を先発隊として関ヶ原に向かいます。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より